

文教厚生常任委員会

委員会開催日 12月15日

(文責・山田能新委員長)

今回、本委員会に付託を受けました案件は、議案16件で、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。ここでは、特に審査の中で出された主な意見、要望などをお知らせします。

(一) は所管課名)

●議案第115号「平戸市教育支援委員会条例の制定について」

教育支援委員会の会議は、年に1回の開催で十分なのかとの質問に対し、年度当初から各保育所・幼稚園・福祉施設を巡回し、特別な教育的支援が必要かどうかの調査の実施や、保護者との協議も行なっており、個別ケースについてはある程度問題が解決していると考えている。

ただし、第7条にあるとおり、緊急に判断または助言を必要とする場合については、会議を随時開催して問題解決

に努めたいと答弁があった。

【教委学校教育課】

●議案第116号「平成27年度平戸市一般会計補正予算(第6号)」に関連して

シルバー人材センター支援事業の高齢者就業機会確保事業費等補助金に関し、シルバー人材センターの会員数と受注件数等についての質問に対し、平成26年度は会員数253人、受注件数2千523件、就業延べ人員2万1千650人、契約金額1億2千287万5千円、そのうち公共の割合は48・1%であるとの答弁があった。

高齢者が増えている中で会員数は減少傾向にあることから、今回の補助金を通じ高齢者の活躍の場の拡大および会員数の増加につなげてもらいたいとの意見があった。

【市民福祉部福祉課】

●議案第125号「指定管理者の指定について」

平戸市へき地保育所(5施設)の指定管理者を平戸市社会福祉協議会に指定することに関し、少子化も相まって5施設の中には入所児童数が10人に満たない保育所も見受け

られるが、そのような保育所の今後の方針はどのようになっているのかとの質問に対し、入所児童数が5人に満たない状況が2年間続いた場合には閉所について協議を始めていくとの答弁があった。

【市民福祉部福祉課】

●議案第133号および議案第134号「指定管理者の指定について」

平戸市総合運動公園「ライフカントリー」および平戸市市民プール「シーライフひらど」の指定管理者を平戸市振興公社に指定することに関し、応募はそれぞれに1者であったということで、応募段階で独自の提案が示されたのかとの質問に対し、サッカー・野球の大会、スポーツ合宿の誘致および活用促進、スイミング教室の推進が示されたとの答弁があった。

また、先の国体を通じて芝生の管理についての実績ができたことで、他施設の芝生の管理についても受託できるようになったことから、今後も自助努力を促していきたいとの答弁があった。

【教委生涯学習課】



志々伎町へき地保育所



度島町へき地保育所



根獅子町へき地保育所



野子町へき地保育所



早福町へき地保育所



決算特別委員会

委員会開催日 10月7、8、9、14、15、16日

(文責・山本芳久委員長)

「平成26年度平戸市一般特別・事業会計」の剰余金の処分および決算の認定について、原案可決および認定すべきものと決定しました。

(一) は所管課名)

●安全・安心が大きく前進

「消防防災無線デジタル化整備事業」で高機能消防通信指令システムおよび消防救急デジタル無線を整備したこと、災害地点の確定と車両の移動が迅速になり、個人情報保護機能が向上したとことである。

【消防本部】

●むし歯予防はフッ化物洗口で

本市の乳幼児から児童のむし歯有病率・むし歯数が国・県の平均よりも高いのは、歯科指導が上手く連携・継続してできていなかったことが原因と考えられる。

平成26年度に新規事業とし

●より多くの生徒に交流の機会を

高校生の交流事業である「ノルトワイケルハウト市姉妹都市交流事業」および中学生の交流事業である「地域間交流促進事業」に関して、経費負担のあり方も含め、より多くの生徒が交流できる制度となるよう要望した。

【文化観光部文化交流課】

●毅然とした態度で業務遂行を

収入未済額が増えた固定資産税の滞納対策については、計画的に分納するよう納税相談を重ねているようだが、今後においても税負担の公平性確保のため、納税形態(個人・法人)の別なく、毅然とした

態度で業務を遂行するよう求めた。

【財務部税務課】

●充実する学校図書館

「学校図書館支援員配置事業」により、小学校に3人、中学校に2人を配置して、拠点校方式で各校を週1回巡回して支援している。

図書館支援員を中心とした全体の資質向上が、児童生徒の読書量にも反映しており、学校図書館の充実については、市内外の関係者からも高い評価を得ているとのことである。

【教委教育総務課・学校教育課】

■まとめ

今後の財政運営には、普通交付税の通減開始や人口減少に伴う税収減を見据えることが非常に大切で、これから策定する「平戸市総合戦略」には本市の課題を十分踏まえたところで成果の上がる取り組みを期待するところである。時代や情報を速やかに読み、総人口減少時代の自治体間競争に埋もれることがないよう、主体的に地域創造に取り組み

議案番号	件名	結果
81	平成26年度平戸市一般会計決算認定について	認定
82	平成26年度平戸市給与管理特別会計決算認定について	〃
83	平成26年度平戸市国民健康保険特別会計決算認定について	〃
84	平成26年度平戸市後期高齢者医療特別会計決算認定について	〃
85	平成26年度平戸市介護保険特別会計決算認定について	〃
86	平成26年度平戸市農業集落排水事業特別会計決算認定について	〃
87	平成26年度平戸市宅地開発事業特別会計決算認定について	〃
88	平成26年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計決算認定について	〃
89	平成26年度平戸市電気事業特別会計決算認定について	〃
90	平成26年度平戸市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
91	平成26年度平戸市病院事業会計決算認定について	認定
92	平成26年度平戸市交通船事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定